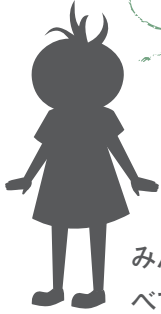


ジャン・ミノコの

The agricultural lecture
by Jan Minoco



にしみの 農業ドリル

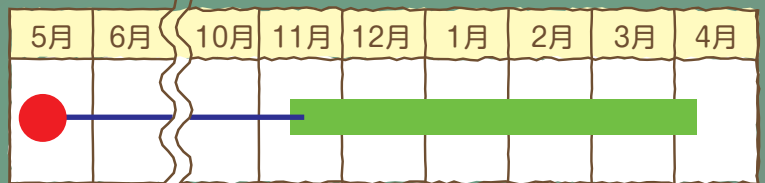


みんな夏バテは大丈夫かな？私はこの夏も管内の農業を調べるために走り回っていたよ！今回はサトイモについて調べてきたので紹介するね。

サトイモってどこで作られているの？



サトイモの栽培カレンダー



● 種イモの定植 — 生育期間 収穫期間



サトイモは、5月上旬に種イモが植えられ、その後、長い間土の中で栄養をたくわえて、11月中旬から翌年の4月上旬にかけて収穫されるんだ。

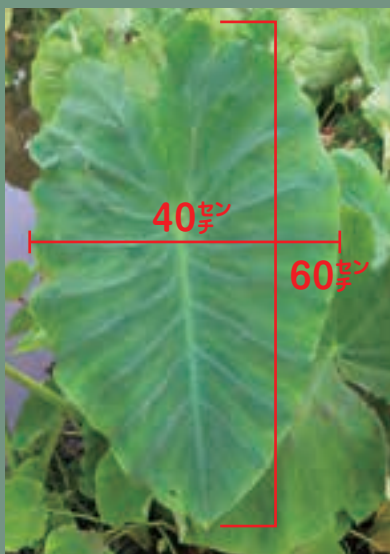
おし 教えてくれるのは…

大垣さといも部会 部長 山口 栄一 さん

管内では主に大垣市でサトイモを栽培しているよ。平成18年に部会を立ち上げ、「大垣里丸」のブランド名で、岐阜市場へ出荷しています。名前のとおり、丸い形が特徴で、肉質は白く、独特のぬめりがあるっておいしいよ。

1つの種イモからたくさんサトイモが収穫できるよ！

みんな驚くかもしれないけど、種イモ1つから20~30個のサトイモが収穫できるよ。生産者のみなさんは、形が丸いのももちろん、Lサイズ(70グラム~99グラム)のサトイモを作ろうと栽培に励んでいるんだ。



サトイモの葉っぱ

サトイモの大きな特徴はこの大きな葉っぱ。8月現在で、タテが60センチ・ヨコ40センチもあるんだ。山口さんによると、よい葉を作ることが、品質の良いサトイモを収穫できることにつながるそうだよ。それ以外にもこまめな水管理や除草にも気を配り、栽培しているよ。

私の顔みたいに丸いサトイモ。生産者の方は、品質の向上や選別の徹底を図るため、何度も研修会を開くなど努力しているんだ。あと2か月もしたら「大垣里丸」の収穫が始まるよ。みんなもぜひ食べてみてね。

